

# 講 義 要 項

授業科目	解剖生理学 I (恒常性、細胞と組織、骨格系、筋系)	担当者	村瀬 健太郎		
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義		1年次・前期
授 業 目 標					
人体の形態と生理的機能を系統的に理解する。また生命現象の基本を学び、身体的変化、外部環境に伴う調節機能について理解する。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 看護の土台となる解剖生理学	解剖生理学を学ぶ意義について理解し、形から見た人体を理解することができる。	1. 人体の構造と機能についてどのように学ぶのか 2. 解剖学・生理学の歴史と現在 3. 人体の構造と区分 4. 人体の部位と器官	5		講義
2. 人体を構成する素材と働き	人体を構成する素材や働きについてを理解することができる	1. 細胞と組織 1) 人体とはどのようなものか 2) 細胞の構造 3) 細胞を構成する物質とエネルギー生成 4) 細胞膜の構造と機能 5) 細胞の増殖と染色体 6) 分化した組織が作る組織 2. 機能から見た人体 1) 動物機能と植物機能 2) 体液とホメオスタシス	8		講義
3. 身体の支持と運動	体を支えるための骨格系と運動するための筋系の働きについて理解できる	1. 人体の骨格 2. 骨の連結 3. 骨格筋 4. 体幹の骨格と筋 5. 上肢の骨格と筋 6. 下肢の骨格と筋 7. 頭頸部の骨格と筋 8. 筋の収縮	16		講義
		修得試験	1	1	
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能(1), 解剖生理学, 医学書院. 2. 目で見るからだのメカニズム, 医学書院. 3. ネット解剖学カラーリングテキスト 南江堂				
評 価	1. 単位修得試験				
備 考	実務経験：鹿児島鍼灸専門学校において、豊富な実務経験を活かした授業を行う。				